

# 楽譜から音楽を読み取る

♪日時：2026年3月15日(日)14:00～15:30

♪会場：マージ・オーキッド

福岡市中央区浄水通 8-15（西鉄「薬院大通駅」徒歩 10 分・中央消防署の先）TEL092-524-2498

♪受講料：3,000 円 当日受付にてお受けします

「楽譜から音楽を読み取る」…当たり前と思うことでしょうか。しかし、あなたは楽譜以外から得た情報をもとに音楽に向き合いすぎていませんか？

作曲家は、作品が世に出たらあとのことは知りません。どう料理されても「仕方がない」と思っています。たまたま後世に残った作品に対し誰かが分析など行っても、作曲した当の本人は「ほお、そうだったのか」などと思うことも。つまり、作曲家にとっては楽譜がすべてなのです。

実はその「楽譜」もすべて信頼できるものなのかどうか…「自筆譜が正しい」と言い切れないこともあります。大作曲家でもボケたら間違えます。出版社による誤植など枚挙にキリがありません。

ではどのようにして音楽に向き合う・楽譜に向き合うのがよりふさわしいのか…そこにはどうしても音楽の理論的な、活きた知識が欠かせません。和声と対位法はいかに重要か、なぜ重要なのか。

この初回セミナーでは、楽譜だけから音楽を読み取り、演奏や指導に役立てるノウハウをレクチャーします。

## ♪テキスト

ベートーヴェン作曲 ピアノソナタ第8番「悲愴」（全楽章）

\*必ずご準備ください。版は問いません。

## ♪お申込み

「九州ピアノ演奏研究会」ホームページ内「お問い合わせ」フォームに、お名前、メールアドレス、「お問い合わせ内容」には

「20260315 セミナー受講希望」と明記の上、送信ください。

<https://kppg20245.wixsite.com/kppg2024>



♪講師：吉田峰明（作曲家）

福岡市出身。宮竹小学校・那珂中学校・筑紫丘高等学校を経て東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程作曲専攻修了。1987年度全日本吹奏楽コンクール課題曲公募入選（「渚スコープ」）。現在、活水女子大学教授（2026年3月まで）。日本作曲家協議会会員、PTNA正会員、九州作曲家協会会員（会長）、九州ピアノ演奏研究会会員（相談役）。指導分野は作曲法、編曲法（管弦楽法を含む）、音楽理論（和声・対位法・楽曲分析等）、合唱、ピアノ、ソルフェージュ、コンピュータミュージック、音楽文化・音楽一般。作品は多岐にわたるが、とりわけ少年少女合唱曲はNHK全国学校音楽コンクール自由曲として多く取り上げられている。主な作品は、少年少女のための合唱組曲「わたしが呼吸するとき」（音楽之友社）、少年少女のための合唱組曲「虹がなければ」合唱組曲「ばらは、一つのばら」（以上、全日本合唱普及会）、「ピアノのためのバラード」（日本作曲家協議会）、ピアノ曲「三つの印象によるソナチネ」「Galatea」、フルートとピアノのための「夜の輪舞曲」「Elegy of the Aegean Sea」、歌劇「かぐや姫と月の女神たち」、ポップスアルバム「Various.」その他多数。